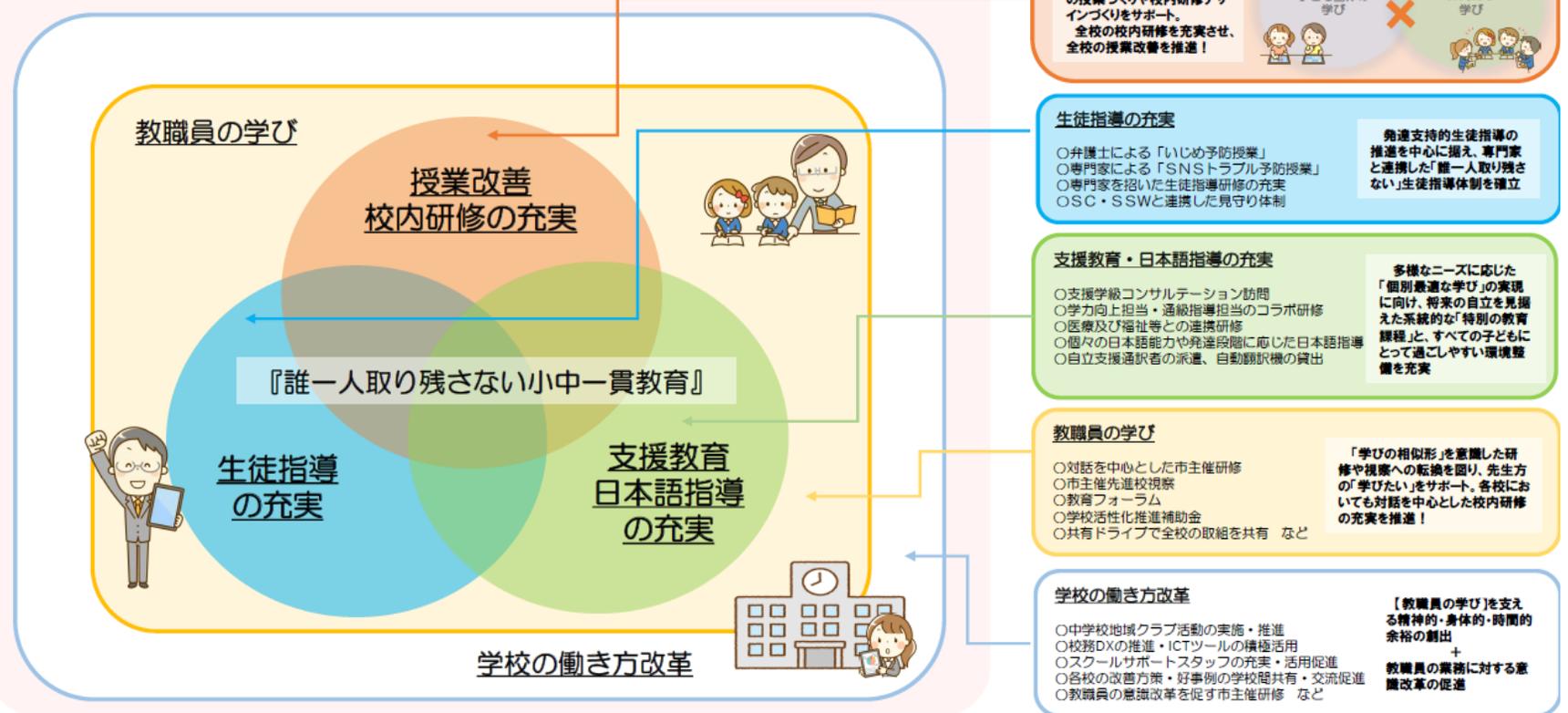


『みんなでつくる 誰一人取り残さない学校』



門真市の小・中学校は、「小中一貫教育」を通して『みんなでつくる誰一人として取り残さない学校』を目指します。

重点取組みの三本柱は

- ① 発達支持的生徒指導
- ② 「子ども主体の学び」と「探究的な学び」
- ③ 特別的教育課程（支援教育・日本語指導）

第三中学校の重点取組みもこの方針に基づいています。保護者・地域の皆様方も「チーム三中」の一員として、重点取組みにご理解とご協力をお願いいたします。

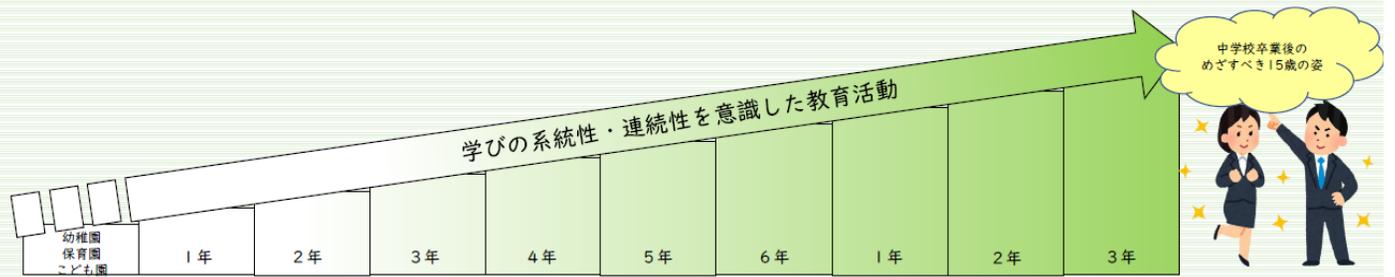
門真市小中一貫教育推進プラン

令和7年3月改訂

本市では、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、変化の激しい社会を生き抜く力を育むため、小中一貫教育を推進します。本プランは、9年間の学びを見通し、切れ目なく育てるための指針です。「子ども主体の学び」「探究的な学び」を柱に令和の日本型学校教育を推進していく上でも、小学校と中学校の学びをつなげるために小中一貫教育が必要です。

門真市がめざす小中一貫教育

- ・義務教育9年間を見通す中で、各中学校区における「めざす子ども像」「学校教育目標」を全教職員で共有し、子どもたちの発達段階に応じた教育活動に取り組む。
- ・義務教育9年間を連続した教育課程として捉え、学び方も含め系統性・連続性を大切にした教育活動に取り組む。
- ・多様な教育的ニーズを抱える子どもへの「特別的教育課程」を含め、義務教育9年間とその先の社会的自立を見通した教育課程を編成する。
- ・小中一貫教育を推進するにあたっては、「架け橋プログラム」にもとづき就学前教育との連携を意識して取り組む。



小学校・中学校ではなく義務教育段階の教職員であることを意識し、長い時間軸で子どもを育てる意識が大切

具体的取組方針

- 門真市のめざす子ども像
- 中学校区で統一した「めざす子ども像」の設定
- 中学校区で統一した「学校教育目標」の設定
- 9年間を見通した教育課程の編成

重点取組

9年間を見通した発達支持的生徒指導	子ども主体の学び 探究的な学び	長期的な視点に立った「特別的教育課程」の編成
<p>児童生徒の規範意識を育み、発達段階に応じた適切なかわりを持ちながら、9年間を見通した発達支持的生徒指導を全校で推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の生徒指導の在り方をつなげるために、中学校区全体で研修を行い、取組を推進する。 ・安全・安心で居心地のよい学校づくりについて中学校区で研究を推進するとともに、児童生徒による主体的な学校運営を促す。 	<p>9年間を見通した子ども主体の学びと探究的な学びの研究を中学校区で連携して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の学びをつなげるために、教科等のつながりも意識して、中学校区全体で授業研究や研修を推進する。 ・小中の系統的な「総合的な学習の時間」の教育課程を編成する。 	<p>一人ひとりの個性や力を最大限に生かせるよう、9年間を見通した「特別的教育課程」を編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達面に課題がある児童生徒について、9年間の一貫した支援を行うことをふまえた「個別的教育支援計画」を作成し、支援計画に基づいた自立活動を実施する。 ・日本語指導が必要な児童生徒の日本語能力、発達段階等、個別の状況を考慮し、小中の系統をふまえた「個別の指導計画」を作成し、活用する。